

施策番号	25
------	----

## 施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

基本政策	5	自治・協働
施策名	25	広報・広聴
10年後のまちの姿	○日常的に市民の間で様々なまちの情報が共有され、相互の情報交流が行われています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市民が行政を身近に感じられるよう、市政情報を分かりやすく伝えるとともに、市民が市政情報を入手しやすく、市政に対して意見や要望を伝えやすい環境を整備します。 市民等は、市政に対して関心を持ち、積極的に市政情報を入手し、自らの声を行政に伝えるよう努めます。	
実現に向けた取組	①接点の拡大と分かりやすい情報の提供 ②コミュニケーション型（対話型）行政の推進 ③市外に向けた市勢情報の発信	
施策担当課・係	総合政策課 広報情報推進係	
施策関係課・係	総合政策課 行革協働係、商工観光課 商工振興係、議会事務局 議会係	

### I 施策の実施状況

#### 1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	15,719	12,584	12,874		
事務事業数	3	3	3		
うち、事務事業評価対象	2	2	2		

#### 2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
胎内市公式ウェブサイトのアクセス数〔年間〕	千セッション	365	420	488	479			444	494
市政に対する意見・要望（市長への手紙、市報アンケート、ホームページの各課問い合わせ）の受付数	件	411	433	460	454			480	560
主要な計画の策定や見直しに当たりパブリックコメントを実施した割合	%	37.5	87.5	100.0	100.0			100	100

#### 3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
達成度の判断根拠	昨年とほぼ同様の数値であるが中間目標を上回っているものもあり施策の進捗状況は概ね順調である。
成果指標による現状分析	○ウェブサイトのアクセスについては、目標値を上回っているものの、アクセス数は伸び悩んでいる。SNSと同時に発信することでアクセス数が増えることが予想される。また、ホームページのデザインが古く魅力的なものになっていないため、入替えも検討する。 ○意見・要望については、市政に対して満足度が高いのか、関心がないのか判断ができない。また、件数が多いからと言って成果が出ている訳ではないと考えられるため、目標値はあるが、意見や要望を随時受け付けしていることを周知することで良いと考える。 ○パブリックコメントについては行うべきものは行っており、今後も継続する。

#### 4 取組の状況と今後の方向性

##### ① 接点の拡大と分かりやすい情報の提供

施策の内容
①市政情報の提供媒体として活用が求められている市報たいないの更なる充実を図ります。 ②情報を必要とする人が、欲しいときに必要な情報を得られるよう、ホームページの更なる充実等を図ります。 ③市政を身近に感じるための方策の1つとして、市議会のインターネット中継等を実施します。
これまでの主な取組と実績
①一般投稿記事を企画し、募集と掲載を実施。(掲載2回) 高齢者でも読みやすくなるよう紙面の文字を拡大した。(全ページの約半数)。ユニバーサルデザインフォントの使用(R1)。 お知らせアイコンを使用し内容を分かりやすく伝えるようにした(R1)。 市報モニター(市民公募)を増やした。(6人→H29-10人→H30-12人) 閲覧用市報の設置施設を増やした。(2施設→12施設) 各課の課題・目標を特集記事(4ページ)として掲載した。(R1-8課) 市報及び議会だよりを「マチイロ」アプリでR1年11月15日号から配信開始。 ②ホームページの巡回確認を行い掲載コンテンツの見直しを実施した。 (見直しの実施H29→28件・対応24件。H30→77件・対応55件。R1→79件・対応57件) ③市議会のインターネット中継について、先行事例の収集と実施団体へ訪問しヒアリングを行い経費を試算し、R2年9月運用開始予定。
主な課題と今後の対応
①特集記事の掲載の継続。 見やすさの向上のためデザインの見直しをする。 市民の声も積極的に掲載する。 市報の発行回数の検討。 市報は市民協働を進めるうえで、市民と課題や目標を共有する上での重要な役割を担っているということを考えながら情報発信しなければならないことを職員一人一人に理解してもらう。 ②ホームページ掲載コンテンツの見直し・見やすさの向上のため巡回確認を実施する。また、デザインが古く魅力的なホームページとなっていないため、入替えも検討する。

##### ② コミュニケーション型(対話型)行政の推進

施策の内容
①地域の課題解決に向けて、市民の多様な意見を施策の検討や改善に反映するため、パブリックコメントの実施、公募委員の参画やワークショップの開催等を更に進めるとともに、座談会や要望相談等行政に建設的な意見や要望を提出する機会を増やします。 ②市民の意見や要望を適切に市政に反映するよう努めるとともに、寄せられた意見や要望の応対状況を公開する新たな仕組み等の導入を検討します。 ③市政への理解の促進と胎内市のファンの拡大を目指して、アカウントの整理や活用の拡大をはじめとするSNSの運用の改善を行い、市民と行政の情報交流を促進します。
これまでの主な取組と実績
①計画策定・見直しの際にパブリックコメント等が実施されるよう、対象となる計画の策定等スケジュールの一元化を行った。 タウンミーティング(協働座談会)について、H30年度からの実施に向けて検討等準備を実施した。 タウンミーティング(協働座談会)を行った。(H30年度→16回。R1年度→5回。) ②市長への手紙について、用紙・封筒の設置施設を増やした。(8施設→9施設) 市報アンケートで寄せられた意見等を職員へ周知し共有した。 市報モニターから寄せられた意見等を職員へ周知し共有した。 ③市のSNSを開設している。facebook→12、インスタグラム→3、Twitter→3(R1防災用に新たにTwitterを開設)、YouTube→1。SNSではないがCookpad→1。市全体の情報をfacebookとTwitterで発信しており、その他事業や施設単位で情報発信を行っている。
主な課題と今後の対応
①タウンミーティングは全集落を目標に今後も継続して行う。 ②SNSアカウントの更新頻度が少ないものは更新を促す。頻度の向上が見込めないものは整理するなど運用を改善する。

③ 市外に向けた市勢情報の発信

施策の内容	
①観光・交流、移住定住、企業誘致等の促進を図るために、胎内市の情報を積極的に発信していくとともに、新たな方策を検討します。	
これまでの主な取組と実績	
①市外向けに市勢要覧の冊子（印刷物）を作成し、電子データをホームページに掲載した。 胎内サポーターズクラブ向けにメールマガジンを発信（月1回）を始めた。（登録者数（総数）：R1年度45人） 郷人会開催 H29 4回 398人 H30 4回 308人 R1 3回 193人（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1回中止） 各県人会・郷人会の会員と交流する場を設け、市外に向けた情報発信を行っている。 市内企業見学ツアーの開催。地元企業合同説明会の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）。	
主な課題と今後の対応	
①関係人口の創出も企図した「たいないサポーターズクラブ」の周知と市勢情報の発信を定期的を実施しサポーターの数を増やす。 郷人会について、外部団体である各会の事務について、市の負担している部分がある。個人情報の取扱いに注意すれば、事務の各会への移譲は可能なので、関係者と協議を進める。	

5 施策の今後の方針

施策方針	◎ 拡充
施策方針に関する説明	<p>○市報について 伝えるべき情報は掲載しているが、効果的に伝わっているかどうか言えば改善の余地があると考えられる。見やすい紙面を目指してR2年度中に新しいレイアウトを考える。その他にマンネリ化を防ぐため、継続できる新しい企画を考え取り組む。現在特集している各課の課題については、市民から「初めて知った」という声も聞こえてくることから継続して行う。</p> <p>○市外への情報発信について 市外への情報発信はSNSが一番有効な手段であることからホームページとリンクして発信するようにする。また「たいないサポーターズクラブ」の会員も増えてきており、メールマガジンで市の情報を拡散してもらうようにする。</p>

## II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R1 事業費	R2		達成度	施策目標 に対する 貢献	一次評価 今後の 方向性	二次評価 今後の 方向性	主な事業	担当課
			当初予算額	うち 一般財源						
520110	広報広聴事業	8,781	10,023	7,621	○	○	②	①		総合政策課
520310	胎内郷人会事業	2,168	2,300	1,895	△	△	⑤	⑤		商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	520110		担当課	総合政策課	担当係	広報情報推進係			
事務事業名	広報広聴事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	5	自治・協働	事業コード	大	52	広報・広聴	款	02	総務費
施策	25	広報・広聴		中	01	接点の拡大と分かりやすい情報の提供	項	01	総務管理費
				小	10	広報広聴事業	目	03	文書広報費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令					
	法令による義務付け			関連条例			関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民と行政の円滑な情報交換を進めるため、市民が必要とする行政情報を市報やホームページ、SNS等を通じて幅広く提供するとともに、市民の意見を聴く機会の確保に努める。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市報発行</li> <li>市勢要覧の作成</li> <li>ホームページ維持管理</li> <li>SNSの投稿</li> <li>市長への手紙</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	10,913	8,802	8,781	10,023	
国・県支出金	208	208	209	210	
地方債	0	0	0	0	
その他	1,192	1,129	951	900	
一般財源	9,513	7,465	7,621	8,913	
人件費（千円）	8,951	8,822	11,243		
正(h) ※事業費	4,000	3,700	5,200		
臨時(h) ※事業費	1,900	2,300	1,610		
総事業費+人件費	19,864	17,624	20,024		
財源「その他」内訳	県民だより配布委託金 209千円 広告掲載料 951千円				
事業費の主な支出内容	印刷製本費 4,395千円 通信運搬費 1,396千円 広報等配布業務委託料 1,148千円				

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	①市報の年間発行回数 ②フェイスブックとツイッターの投稿回数	①市報の年間発行回数 ②フェイスブックとツイッターの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数	①市報の発行回数 ②SNSの投稿回数
	目標	①24回 ②81回	①24回 ②95回	①21回 ②96回	①21回 ②97回	①21回 ②98回
	実績	①24回 ②79回	①24回 ②15回	①21回 ②88回		
成果指標	名称	①市報モニターアンケートの年間平均評価②年間投書数③ホームページ年間閲覧数④ホームページ年間アクセス	①市報モニターアンケートの年間平均評価②年間投書数③ホームページ年間閲覧数④ホームページ年間アクセス	①市報モニターアンケートの年間平均評価②年間投書数③ホームページ年間閲覧数④ホームページ年間アクセス	①市報モニターアンケートの年間平均評価②年間投書数③ホームページ年間閲覧数④ホームページ年間アクセス	①市報モニターアンケートの年間平均評価②年間投書数③ホームページ年間閲覧数④ホームページ年間アクセス
	目標	①3.0②271枚 ③1,298千ビュー ④404千セッション	①3.1②272枚 ③1,299千ビュー ④414千セッション	①3.2②273枚 ③1,300千ビュー ④424千セッション	①3.3②274枚 ③1,301千ビュー ④434千セッション	①3.4②275枚 ③1,302千ビュー ④444千セッション
	実績	①3.9②258枚 ③1,385千ビュー ④420千セッション	①3.9②219枚 ③1,433千ビュー ④488千セッション	①4.0②225枚 ③1,393千ビュー ④479千セッション		
	目標比	①130%②95% ③107% ④104%	①126%②81% ③110% ④118%	①125%②82% ③107% ④113%		

4 達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	成果指標については昨年に比べ数値が下がっているものはあるが概ね達成している。市報については見やすさや、各課の重点課題の特集記事に取り組み評価が上がっている。ホームページについて、更新は行っているものの閲覧者側の視点による見せ方の改善は必要であるが、パッケージの仕様で作成しているためこれ以上の見せ方の改善は見込めない状況である。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
効率性	協働または民間への外部化が不可能な理由	
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	△
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○
	算出方法	
実績	平成29年度	
	平成30年度	
	令和元年度	
	令和2年度	
	令和3年度	

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> <li>市報のお知らせ以外の文字を拡大した。</li> <li>ホームページを巡回確認し、古いコンテンツ・わかりにくいページを更新した。</li> </ul>
[H30]
・R1年度の市報発行回数の見直し（合併号を年3回発行）
[R01]
<ul style="list-style-type: none"> <li>各課の重点課題を特集記事にした。8課。残りはR2年度に実施</li> <li>文字を障がい者でも見やすいユニバーサルデザインフォントに変更。</li> <li>街の連絡帳を無駄に長い説明をやめ、簡潔にわかりやすい文面に変更。お知らせアイコンを使用し、内容を分かりやすく伝えるようにした。</li> <li>市報及び議会だよりを「マチイロ」アプリで11月15日号から配信開始。</li> </ul>

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	②
課題 改善 後 方 の 法 対 応	<ul style="list-style-type: none"> <li>市報は、市民協働を進める根拠としてパートナーとなる住民との信頼関係を築き、課題や目標を共有する上で重要な役割を担っていることを職員一人一人が認識しながら情報発信するという気運を高めていく必要がある。</li> <li>市報の発行回数については減らした方が良いという声が出てきており、アンケート等実施し方向性を決定する。</li> <li>ホームページについては、情報の陳腐化・表現の不統一に対応するため、巡回チェックを継続する。また、デザインが古く魅力的なホームページとなっていないため、入替えも検討する。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	①			
所見	市報の発行回数について検討する。ホームページを充実させる必要がある。			
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減			
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	520310		担当課	商工観光課	担当係	商工振興係				
事務事業名	胎内郷人会事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	5	自治・協働	事業コード	大	52	広報・広聴	予算科目	款	07	商工費
施策	25	広報・広聴		中	03	市外に向けた市勢情報の発信		項	01	商工費
				小	10	胎内郷人会事業		目	01	商工総務費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内市を故郷とする各県人会と交流を深め、胎内市の発展を考える場を設ける。
主な実施内容	各県人会・郷人会の会員と交流する場を設ける。 ・東京胎内郷会（4月） ・関西胎内郷人会（5月） ・オール胎内郷人会（10月） ・中条郷会（3月）
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	2,889	2,398	2,168	2,300	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	198	266	273	1,280	
一般財源	2,691	2,132	1,895	1,020	
人件費（千円）	442	445	399		
正(h) ※事業費	240	240	210		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	3,331	2,843	2,567		
財源「その他」内訳	参加者負担金：273千円				
事業費の主な支出内容	胎内郷人会出演等謝礼：110千円 普通旅費：352千円 自動車借上料791千円 ほか				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	開催数	開催数	開催数	開催数	開催数
	目標	4回	4回	4回	4回	4回
	実績	4回	4回	3回		
成果指標	名称	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数
	目標	500人	500人	300人	300人	300人
	実績	398人	308人	193人		
	目標比	79.6%	61.6%	64.3%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年3月開催予定であった中条郷会が中止となったため。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	×			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	△			
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△			
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○			
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	×			
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	×			
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	△			
	算出方法				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

・各会における参加者の高齢化が進んでいるが、各会の事務局は特に対応しておらず、市においても同様である。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	⑤
課題及び今後の対応	若い世代の入会がないため会員の高齢化が進んでいることから、会の存続のためには開催方法等について各会の方々と協議をしていく必要がある。

8 二次評価

今後の方向性	⑤																										
所見	今後の方向性	⑤																									
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
	拡充	×	④	②	①																						
	維持	×	⑤	③	×																						
	縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																							
	削減	縮小	維持	拡大																							
コスト投入の方向性																											